

酵素分析装置
唾液アミラーゼモニター



唾液中に含まれる α -アミラーゼ(唾液アミラーゼ)を非侵襲で簡単に測定できます。(約60秒)

使いやすさに配慮しました

- チップを簡単に着脱できるように、スロットイン方式を採用しています。
- 10~200KIU/Lの広い測定範囲にしています。



簡単に唾液が採取できます

チップは、どなたでも負担なく唾液が採取できるよう形状の配慮が施され、また簡単に操作できるようにしています。



シンプルな使用方法



1 シートの先端を舌下部に入れ、唾液を採取します。(約30秒)



2 採取したシートの後部を1段階引っ張り、シート先端部分をホルダー内に取めます。カチッといったら完了です。

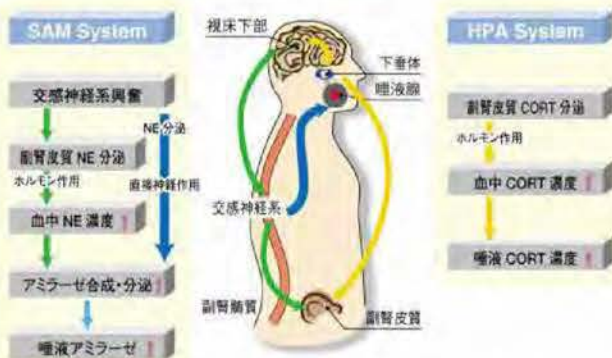


3 チップをセットすると電源が入ります。



4 セットしたら表示に従いレバーを操作してください。警告音が鳴ってから装置の外に出ているシートを2段階目まで引っ張ります。その後、計測が開始されます。

唾液中へのアミラーゼ分泌の機序



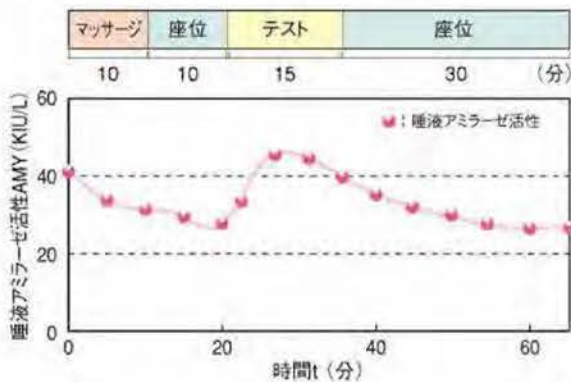
● SAM System (sympathetic nervous-adrenal medullary system): 交感神経系-副腎髄質系
● HPA System (hypothalamic-pituitary-adrenocortical system): 視床下部-下垂体-副腎皮質系
● NE: ノルエピネフリン ● CORT: コルチゾール

唾液アミラーゼについて

消化酵素のひとつである唾液アミラーゼ(唾液中の α -アミラーゼ)は、刺激に対する交感神経興奮状態の強さの目安になる指標です。交感神経が刺激され興奮状態になると、神経作用により唾液アミラーゼが分泌され、より高い興奮状態になると活性値が高まると考えられます。

測定例

健康者に簡単な1桁の足し算を行わせたとときの唾液アミラーゼ活性の経時的な変化



■主な仕様

●販売名: 唾液アミラーゼモニター ●形式: CM-2.1 ●電源電圧: DC3V ●使用温度: 20℃~30℃ ●保存温度: 5℃~40℃ (本体) 1℃~30℃ (チップ) ●寸法・質量: 幅130×高さ40×奥行87mm 約190g (本体) 幅13×厚さ6×長さ120mm 約3g (チップ) ●素材: ABS樹脂 (本体) PS樹脂 (チップホルダー) PET樹脂 (チップシート) ●付属品: モニター用乾電池、取扱説明書 ●医療機器届出番号: 27BIX00045000073



ご注意

- ご使用前に必ず「添付文書」および「取扱説明書」をお読みの上、正しく安全にお使いください。
- 唾液アミラーゼの測定以外の目的で使用しないでください。事故やけがのおそれがあります。



製造販売

ニプロ株式会社
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

測定器の総合商社
株式会社 佐藤商事
SATO SHOUJI INC.

〒211-0063 川崎市中原区小杉町 1-403 武蔵小杉タワープレイス 5 階

☎: 044-738-0622

FAX: 044-738-0623

http://www.ureruzo.com http://satosokuteiki.com